

焼岳火山防災協議会第7号会員の退任及び就任について

焼岳火山防災協議会の第7号会員を以下のとおり変更する

新規就任（予定）者	就任理由
国立大学法人信州大学理学部理学科 地球学コース 教授 齋藤 武士 氏	令和3年7月30日に退任した 信州大学名誉教授 三宅 康幸 氏の後任として就任する
国立大学法人京都大学防災研究所 流域災害研究センター穂高砂防観測所 准教授 宮田 秀介 氏	今回退任する三重大学教授 堤 大三氏の後任として就任す る
国立大学法人山梨大学大学院総合研究部 工学域土木環境工学系 准教授 秦 康範 氏	焼岳の麓には、有数の観光地で ある上高地があるため、観光防 災の専門家である秦氏を追加 し、噴火等の際の対策のより一 層の推進を図る

各新規就任（予定）者の経歴については、別添「経歴書」を参照のこと

焼岳火山防災協議会 第7号会員 経歴書

大学名等

国立大学法人信州大学 学術研究院理学系（理学部）

職氏名

教授 齋藤 武士

研究分野

火山学, 岩石磁気学

略歴

1999年3月 京都大学総合人間学部 卒業

2001年3月 京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程 修了

2004年3月 京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程 修了

2004年4月～12月 京都大学大学院人間・環境学研究科 研修員

2004年12月～2006年3月 京都大学理学研究科 研究機関研究員

2006年4月～2008年3月 日本学術振興会 特別研究員

2008年4月～2013年3月 信州大学ファイバーナノテク国際若手研究者育成拠点 テ
ニュアトラック助教

2013年4月～2021年3月 信州大学理学部 准教授

2021年4月～ 信州大学理学部 教授

研究実績（論文等）

最近の代表的な査読付き論文

1. 鈴木秀雄・齋藤武士, 2019年5月21日に木曾御嶽山で発生した大規模雪崩の状況と原因に関する考察. 信州大学理学部紀要, 50, 93-120, 2021.
2. Hiroya Nitta, Takeshi Saito, Yorinao Shitaoka. Recent eruption history inferred from eruption ages of the two latest lava flows using multi-dating at Yokodake Volcano, Japan. Earth Planets Space. <https://doi.org/10.1186/s40623-020-01220-3>, 2020.
3. Yorinao Shitaoka, Takeshi Saito, Junji Yamamoto, Masaya Miyoshi, Hidemi Ishibashi and Tsutomu Soda. Eruption age of Kannabe volcano using multi-dating: implications for age determination of young basaltic lava flow. Geochronometria. 46, 49-56, 2019.
4. Kyoko S. Kataoka, Takane Matsumoto, Takeshi Saito, Yoshitaka Nagahashi, Tsutomu Iyobe. Suspended sediment transport diversity in river catchments following the 2014 phreatic eruption at Ontake Volcano, Japan. Earth Planets Space. <https://doi.org/10.1186/s40623-019-0994-x>, 2019.
5. 齋藤武士・澤村俊・田村理納・関晋・網田和宏・三島壮智・大沢信二, 焼岳火山の噴気の化学・同位体組成. 火山, 64, 1-9, 2019.

6. Kyoko S. Kataoka, Takane Matsumoto, **Takeshi Saito**, Katsuhisa Kawashima, Yoshitaka Nagahashi, Tsutomu Iyobe, Akihiko Sasaki and Keisuke Suzuki. Lahar characteristics as a function of triggering mechanism at a seasonally snow-clad volcano: contrasting lahars following the 2014 phreatic eruption of Ontake Volcano, Japan. *Earth Planets Space*. <https://doi.org/10.1186/s40623-018-0873-x>, 2018.
7. Gregory T. Carling, Jani Radebaugh, **Takeshi Saito**, Ralph D. Lorenz, Anne Dangerfield, David G. Tingey, Jeffrey D. Keith, John V. South, Rosaly M. Lopes and Serina Diniega. Temperatures, thermal structure, and behavior of eruptions at Kilauea and Erta Ale volcanoes using a consumer digital camcorder. *GeoResJ*. 5, 47-56, 2015.
8. Le Friant, A., Ishizuka, O., Boudon, G., Palmer, M.R., Talling, P.J., Villemant, B., Adachi, T., Aljehdali, M., Breitzkreuz, C., Brunet, M., Caron, B., Coussens, M., Deplus, C., Endo, D., Feuillet, N., Fraas, A.J., Fujinawa, A., Hart, M.B., Hatfield, R.G., Hornbach, M., Jutzeler, M., Kataoka, K. S., Komorowski, J.-C., Lebas, E., Lafuerza, S., Maeno, F., Manga, M., Martínez - Colón, M., McCanta, M., Morgan, S., **Saito, T.**, Slagle, A., Sparks, S., Stinton, A., Stroncik, N., Subramanyam, K. S.V., Tamura, Y., Trofimovs, J., Voight, B., Wall - Palmer, D., Wang, F. and Watt, S.F.L. Submarine record of volcanic island construction and collapse in the Lesser Antilles arc: First scientific drilling of submarine volcanic island landslides by IODP Expedition 340. *G-cubed*, doi:10.1002/2014GC005652, 2015.
9. **Takeshi Saito** and Naoto Ishikawa, Pre- and syn-eruptive conditions inferred from the magnetic petrology of Fe-Ti oxides from three historical eruptions of Unzen volcano, Japan. *J. Volcanol. Geotherm. Res.* 247-248, 49-61, 2012.

社会等における活動履歴

中ノ湯地区安全管理協議会 技術検討委員会 委員 (2018年～)

焼岳火山防災協議会 第7号会員 経歴書

大学名等

国立大学法人京都大学

職氏名

准教授 宮田 秀介

研究分野

砂防学

略歴

- 2002年 京都大学農学部生産環境科学科 卒業
- 2004年 京都大学大学院農学研究科森林科学専攻修士課程 修了
- 2007年 京都大学大学院農学研究科森林科学専攻博士後期課程 修了
- 2007年 日本学術振興特別研究員（PD）（京都大学大学院農学研究科所属）
- 2008年 東京農工大学農学府・農学部 産学官連携研究員
- 2010年 京都大学防災研究所 助教
- 2021年 京都大学防災研究所 准教授

研究実績（論文等）

1. 嶋崎諒子, 宮田秀介, 竹之内健介, 堤 大三, 藤田正治: 現地観測に基づいた関数モデルによる斜面の災害危険度指標, 砂防学会誌, 74(5), 2022 (印刷中)
2. 宮田秀介, 野中理伸, 鶴本孝也, 上小牧和貴, 岩男忠明, 藤田正治: TDR センサーを用いた土石流の間隙流体土砂濃度の現地観測, 砂防学会誌, 74(4), 42-47, 2021
3. Takayama, S., Miyata, S., Fujimoto, M., Satofuka, Y.: Numerical simulation method for predicting a flood hydrograph due to progressive failure of a landslide dam, Landslide, 18,3655-3670, 2021.
4. Miyata, S., Mizugaki, S., Naito, S., Fujita, M.: Application of time domain reflectometry to high suspended sediment concentration measurements: laboratory validation and preliminary field observations in a steep mountain stream, Journal of Hydrology, 585, Article 124747, 2020.
5. Hürlimann, M., Coviello, V., Bel, C., Guo, X., Berti, M., Graf, C., Hübl, J., Miyata S., Smith, J.B., Yin, H-Yuan: Debris-flow monitoring and warning: review and examples, Earth-Science Reviews, 199, Article 102981, 2019.
6. Miyata, S., Gomi, T., Sidle, R. C., Hiraoka, M., Onda, Y., Yamamoto, K., Nonoda, T.: Assessing spatially distributed infiltration capacity to evaluate storm runoff in forested catchments: Implications for hydrological connectivity, Science of the Total Environment, 669, 148-159, 2019.
7. 山口翔大, 宮田秀介, 堤 大三, 村重慧輝, 藤田正治: 数値解析による積雪条件の異なる融雪型火山泥流予測, 砂防学会誌, 71(6), 3-13, 2019.

8. Gonda, Y., Miyata, S., Fujita, M., Legono, D., Tsutsumi, D.: Temporal Changes in Runoff Characteristics of Lahars after the 1984 Eruption of Mt. Merapi, Indonesia, *Journal of Disaster Research*, 14(1), 61-68, 2019.
9. 内藤秀弥, 宮田秀介, 岸本昌之, 服部浩二, 石塚忠範, 永田葉子, 小菅尉多, 藤田正治: TDRによる土砂濃度計測を用いた山地河川での浮遊砂鉛直分布の観測, *砂防学会誌*, 71(4), 3-12, 2018.
10. 平川泰之, 岡野和行, 植野利康, 堤大三, 宮田秀介, 里深好文: 雲仙岳の噴火後 20 年を経過した火砕流堆積斜面における土石流発生場の地形・地質特性, *砂防学会誌*, 71(3), 12-20, 2018.
11. Miyata, S., Fujita, M.: Laboratory based continuous bedload monitoring in a model retention basin: Application of time domain reflectometry, *Earth Surface Processes and Landforms*, 43(9), 2022-2030, 2018.
12. 今泉文寿, 堤大三, 中谷加奈, 権田豊, 逢坂興宏, 福山泰治郎, 宮田秀介, 篠原慶規, 水野秀明, 原田紹臣, 水野正樹: 大規模土砂移動に伴う災害の特徴整理と影響範囲の予測および対策に向けた課題, *砂防学会誌*, 70(1), 20-30, 2017.
13. 宮田秀介, 藤田正治: TDR (時間領域反射測定法) を利用した堆積土砂面位および空隙率測定, *砂防学会誌*, 68(1), 32-38, 2015.
14. 村重慧輝, 堤大三, 宮田秀介, 藤田正治, 酒井英男, 上石勲: 火山泥流発生機構解明のための高温砂礫による融雪に関する実験的研究, *砂防学会誌*, 67(6), 3-10, 2015.
15. 宮田秀介, 堤大三, 村重慧輝, 宮本邦明, 藤田正治: 泥流発生過程を考慮した融雪型火山泥流の予測, *土木学会論文集 B1 (水工学)*, 70(4), I_949-I_954, 2014.
16. 五味高志, 宮田秀介, Roy C. Sidle, 小杉賢一朗, 恩田裕一, 平岡真合乃, 古市剛久: 分布型流出モデルを用いたヒノキ人工林流域における地表流の発生と降雨流出解析, *日本森林学会誌*, 95, 23-31, 2013.

社会等における活動履歴

弥陀ヶ原火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会 (2019年～2021年)
 砂防学習での講師 (高山市立栃尾小学校 4年生) (2017年～2021年)
 森林学習での講師 (高山市立栃尾小学校 5年生) (2017年～2021年)
 土砂災害に関する講師 (甲府南高校, 京都教育大付属高校など) (2010～2021年)
 国土交通省近畿地方整備局技術スペシャリスト会議アドバイザー (2017年)
 NPO 法人・山の自然文化研究センター理事 (2014年～2021年)

焼岳火山防災協議会 第7号会員 経歴書

大学名等

国立大学法人山梨大学大学院総合研究部工学域土木環境工学系

職氏名

准教授 秦 康範

研究分野

地域防災、災害情報、観光防災

略歴

1995年3月 大阪大学工学部精密工学科卒業
1999年3月 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻修士課程修了
2002年3月 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻博士課程修了
1995年4月～1996年5月 株式会社日本総合研究所
2002年4月～2005年1月 財団法人阪神・淡路大震災記念協会
人と防災未来センター 専任研究員
2005年2月～2007年3月 独立行政法人防災科学技術研究所
川崎ラボラトリー 研究員
2007年4月 東京大学生産技術研究所 目黒研究室 研究員
2007年7月 東京大学生産技術研究所 目黒研究室 産学官連携研究員
2008年10月 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会システム工学系 特任准教授
2009年1月 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会システム工学系 助教
2009年12月 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会システム工学系 准教授
2014年10月 山梨大学大学院総合研究部（工学域・土木環境工学系） 准教授

研究実績（論文等）

<査読論文>

- ・ 秦康範：
災害情報の裏命題：リスク情報が安全情報として理解されるメカニズム，
地域安全学会論文集，No.37，pp.187-195，2020.11
- ・ 秦康範：
訪日外国人への災害情報提供の現状と課題，IATSS Review（国際交通安全学会誌），
Vol.45，No.1，pp.28-35，2020.6
- ・ 小玉乃理子，秦康範，越野修三，阪本真由美，宇田川真之，国崎信江，花原英徳，
星野渉・斉藤健郎：
広域防災拠点と受援対象業務に着目した広域受援計画の検討プロセス～長野県にお
ける広域受援計画策定に向けた検討過程～，地域安全学会論文集，
No.34，pp.103-113，2019.3
- ・ 大西正輝，山下倫央，秦康範，坂間 亮弘：
避難時における正常性バイアスと集団同調性バイアスの計測：災害時に人はなぜ逃げ

ないのか?, 信学技報, 116(528), pp.41-45, 2017.3

<口頭発表>

- ・丸山洸, 秦康範, 田中義朗, 福崎昭伸 :
御嶽山を対象とした火山登山者の動態把握に関する研究, 第75回土木学会年次
学術講演概要集, IV-157, 2020.9
- ・南沢修, 秦康範 :
複数の火山ハザードマップの作成及びデータベース化, 地域安全学会梗概集,
No.46, pp.133-134, 2020.5
- ・高井彬名, 秦康範 :
2014年御嶽山噴火における全国版と地域版の新聞報道内容の比較研究,
土木学会関東支部, 第47回関東支部技術研究発表会, 2020.3
- ・南沢修, 秦康範 :
自治体の火山担当者の育成及び火山災害経験者の活用, 日本災害情報学会,
第21回研究発表大会予稿集, pp.66-67, 2019.10
- ・南沢修, 秦康範 :
緊急時の火山防災協議会と火山専門家の役割, 地域安全学会梗概集,
No.44, pp.77-78, 2019.5
- ・南沢修, 秦康範 :
活動火山対策特別措置法の改正点と運用の課題, 日本災害情報学会,
第20回研究発表大会予稿集, pp.78-79, 2018.10

社会等における活動履歴

- ・内閣府「中央防災会議「防災対策実行会議」
大規模噴火時の広域降灰対策検討ワーキンググループ」委員 (平成30年度～)
- ・内閣官房情報セキュリティセンター「分野横断的演習検討会」委員 (平成21年度～)
- ・総務省消防庁「火山災害における避難実施要領の作成モデル事業検討会」委員長 (令和2年)
- ・山梨県「防災バックアップ機能整備検討会議」委員 (令和2年)
- ・山梨県「富士山噴火災害に対する現地対策拠点の在り方等検討会議」委員 (令和2年)
- ・長野県「避難行動を促す情報発信・伝達のあり方検討会」有識者 (令和2年)
- ・長野県防災会議委員 (平成24年度～)
- ・長野県木曾地域振興局「御嶽山火山マイスター認定審査委員会」委員 (平成30年度～)
- ・一般財団法人国土技術研究センター「河川研究会」委員 (平成29年度～)
- ・箱根山火山防災協議会委員 (令和3年～)